

毛糸のおっぱいプロジェクト



ニュースレター vol.3

2013年1月～11月の活動報告

2013年11月発行 事務局/とも子助産院
仙台市泉区野村字野村 95-6 022-772-5960

毛糸のおっぱいプロジェクトを応援してくださっている皆様、ありがとうございます。3年間継続を目標に2011年8月に開始したこの事業も、おかげさまでとうとう目標だった3年目に入りました。なのに、現地の津波痕の痛々しさは相変わらずです。気仙沼で産まれる毛糸の作品たちに私自身も、とても癒されてきました。今後は「被災者支援」のキャッチフレーズがなくても、買っていただける品に育っていくことが、肝だなあと感じています。

これからも、編み手・縫い子の気仙沼「おっぴ様」たちと、全国の赤ちゃんとママ・母乳育児支援に情熱を傾ける医療者の皆さまを、仙台のお母ちゃんスタッフ達とともに、やんわりとつないでいきたいなあと考えています。どうぞ、見守ってくださいませ。

(とも子助産院 伊藤朋子)



**気仙沼でふれあった、
たくさんのあったかい心に
笑顔のもとをいただきました！**



10月半ばに気仙沼の編み手さんを訪ねました。仙台から2時間半。普段は、お手紙や電話での連絡のみでなかなか足を運べない距離ということもあり、お楽しみを交えながらの訪問でした。

お昼ごはんに立ち寄ったのは復興屋台村にある中華料理店。気仙沼名産フカヒレがのった醤油ラーメンはあっさりとしながらもコクがあって、もう一杯いきたいおいしさでした。他のメニューも絶品のこのお店は、私たちが入って間もなく満席になったほど。おすすめです！

同じ屋台村にはお土産物屋さんも数軒並び、海産物やご当地グッズなどの特産品でいっぱい。編み手さんが作るホヤぼーやの編みぐるみを販売しているお店では、店主さんと久しぶりの再会を果たすことができました。子どもたちに雑貨のお土産やおやつをくださるなど、どのお店の方々も親切だったのがとても印象的で、人の温かさを感じつつ編み手さんのお宅へと移動しました。

私にとって編み手さんのお宅訪問は今回がはじめて。いろんな場所に手づくりの毛糸雑貨が飾られ、日々編み物を楽しんでいらっしゃる様子が伝わってきました。「編んでいる時間がなにより楽しくて、編み物なら新しいことにどんどんチャレンジしてみたいの！」とニコニコ話す編み手のおっぴさん。授乳パペットあむあむちゃんはディテールの表現が難しく、試作改良を重ねて現在のカタチになりましたが、新しい作品が完成するのも編み手さんの想いあってこそだなあと感慨深く思いました。

さらに編み手さんは、震災後のさまざまな親切を感謝の気持ちいっぱい話します。「みなさんの親切のおかげで今がある。だから気仙沼の人は、訪れる人に親切なんですよ。地元のドライバーが積極的に道をゆずるようになったり、そういう些細なことも大切にする人が増えたわね」という話には、復興屋台村での好意を思い出し、胸にまたじんわり広がる温かさを感じました。

まだまだ復興途中であることを景色やお話から感じ、切なく思ったのも正直なところですが、でも、おっぴさんをはじめ気仙沼でふれ合った方々の笑顔と優しさには、ひだまりのような温かさがありました。

今回、気仙沼でもらってきた温かさも伝えるような気持ちでプロジェクトの活動をしていきたいと思えます。

(スタッフ 高山彰子)



2013年 毛糸のおっぱいプロジェクトの主な参加イベント



今年も、さまざまな学習会で販売やPRをさせていただくことができました。
ご厚意により委託販売をお願いすることもたびたびあり、たくさんの方にお世話になりましたことを改めてお礼申し上げます。皆さま、いつもありがとうございます！

1月

- 第33回 JALC 母乳育児学習会 in 千葉
- 鎌倉八幡宮 参道販売(委託)

2月

- 日本助産師会3部会交流会 in 東京ワコールビル
- 第1回 母乳育児学習会 in 気仙沼

3月

- 第10回 IBCLCのための母乳育児カンファレンス in 京都

4月

- 母乳育児支援基礎セミナー in 名取(委託)

5月

- 第2回 母乳育児学習会 in 気仙沼
- 第69回 日本助産師学会 in 徳島

↓徳島では学生さんが
お手伝いしてくれました



3月 京都にて

6月

- 第34回 JALC母乳育児学習会 in 北九州

8月

- ブックギャラリーポポタム「おっぱい展」(東京)(委託)

9月

- 日本助産師会 北海道・東北地区研修会 in 札幌



↑おっぱいやあむあむちゃんは北海道でも大好評。
「ミニは使いやすい便利」「かわいい～」との声がかかれました。



あむあむちゃん大人気！北九州学習会。



10月

- 第9回 医師のための母乳育児支援セミナーin 京都(委託)

11月

- 千葉エリア母乳育児学習会(委託)
- 母乳育児を学ぶ北関東教室(委託)

日本 BPW 連合会他、
毛糸のおっぱいプロジェクトの
活動を支えてくださっている皆さまに
心より感謝いたします。

プロジェクト開始から
2900個のあむあむおっぱい
824個のミニおっぱい
75体のあむあむちゃん
をお買い上げいただきました

うち2013年は
762個のあむあむおっぱい
390個のミニおっぱい
75体のあむあむちゃん
をご購入いただいています
(2013年10月現在の集計)

user's SALON

～おっぴユーザーさんご紹介～

助産師さんや学生さんを中心に、全国各地より注文をいただいているおっぴとあむあむちゃん。今では多くのユーザーさんがいらっしゃいます。感謝です！

長野県の助産師学生さんからは、購入後に素敵なお写真が届きました。ホワイトボードには「おっぴありがとうございます。いい助産師になります！」とのことばが。今日もおっぴを手に、実習に取り組まれているのでしょうか。命を産み育む現場に出るためにはハードな時間もあるでしょうが、若いパワーとスマイルでがんばってくださいね！



長野県の学生さんより

旭川の保育園さんは通園している乳幼児のためにセット購入してくださいました。毎日のお昼寝タイムに使うとのこと。おっぴをそばにおいて眠ることで少しでもお母さんを感じ、安らぎが増す時間になっていたらうれしいです。

おっぴは日本だけでなく海外でも活躍しています。母子保健専門家の三浦孝子さんを通じて、インドの農村保健ボランティアさんにも使ってもらえるようになりました。教育機会が少なく乳児死亡率が高い地域だそうですが、こうしたおっぴでの母乳育児支援によって、一人でも多くの赤ちゃんが元気に育ってくれることを心から願います。



農村での保健ミーティングの様子



プロジェクトのお針子さんが手がける 助産院オリジナル 「こしひも」と腹帯ご紹介！

プロジェクトのお針子さん
が産前、産後の骨盤をしめる
のに最適な「こしひも」も作成
しています

さらしを4つ折にしてミシン
がけしたもので長さは3m。
とも子助産院、特製のご安産
印つき。助産院にて、1本800
円で販売しています。

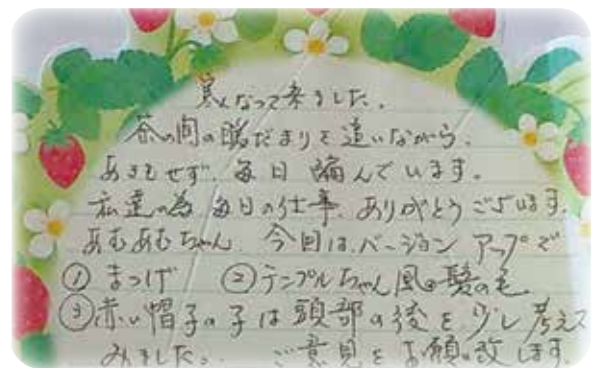


上 こしひも
下 はらおび



Love letter from 気仙沼

毛糸のおっぴが気仙沼から送られてくる時
納品書とともに同封されてくる編み手さんから
のお手紙。かわいらしい便せんに近況やいたわり
の言葉などがつづられていて、スタッフの楽
しみになっています。ありがとうございます。





授乳パペットあむあむちゃんの活用法

快適な授乳のためのポイントをお話するとき大活躍です。



(1)大切なのは、赤ちゃんの口の開きと、舌の位置。

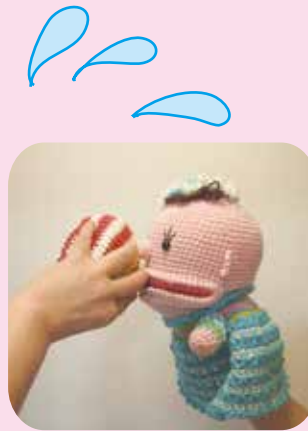
(2)おっぱいは少し上向き、赤ちゃんのお鼻にむけて。

(3)お口いっぱい、おっぱいを含みましょう。

泣くのは遅めのサインです。



泣いている赤ちゃんに授乳するのは難しいものです。落ち着いている時と泣いている時の舌のちがいをわかりやすく説明できます。



おっぱいに手を添えたい時は、赤ちゃんの口に指があたらない位置で支えましょう。

赤ちゃんもママも嬉しい授乳タイム♪



こんなふうにならなければOK。まるで赤ちゃんがおっぱいを食べているみたい。

あむあむおっぱいを販売しませんか？

くわしくはお問い合わせください。

委託販売

1回につき30個以上預かっていただき、売れ残りは着払いで返品いただく方式。売り上げの20%を委託料としてお支払いいたします。イベント、学習会などでもご利用下さい。

まとめ買い 定価にて10万円分以上をまとめてご注文いただくと30%引きにさせていただきます。

単品、10個パックのご購入はホームページからの申込が便利です。

あむあむおっぱい 1個 2,000円
ミニおっぱい 1個 1,200円
あむあむちゃん 1体 6,000円

送料500円をご負担いただいております。

毛糸のおっぱいプロジェクト

TEL 022-772-5960 FAX 022-772-1743

Mail oppi@tomo-j.jp

お支払方法

<銀行振込の場合>

七十七銀行 向陽台支店(普通) 5367638

口座名: 毛糸のおっぱいプロジェクト 代表 北原郁恵

<郵便振替の場合>

郵便局備え付けの「払込取扱票」(郵便振替用紙・青色)か、当方で配布中の印刷済み振替用紙(青色)をご利用下さい。

口座記号 - 口座番号 022804134233

加入者名 毛糸のおっぱいプロジェクト